

2021年12月15日

各 位

会社名 株式会社GA technologies
 代表者名 代表取締役社長執行役員CEO 樋口 龍
 (コード番号：3491東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員CAO 松川 誠志
 (TEL03-6230-9180)

通期業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異並びに減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）決算において、2021年9月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した2021年10月期通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、減損損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年10月期通期業績予想値と実績値との差異

(1) 2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）

(単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	85,000	986	△490	△970	△1,340	△39.93
今回発表実績(B)	85,388	1,466	△39	△431	△1,269	△37.81
増減額(B-A)	388	480	451	539	71	—
増減率(%)	0.5%	48.7%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2020年10月期)	63,070	2,861	1,888	1,654	903	31.25

(2) 差異の理由

当第4四半期連結会計期間（2021年8月1日～2021年10月31日）において、前回業績予想修正時の想定と比較し、RENOSYの認知度向上等により、RENOSY会員数が順調に伸びたことなどが奏功し、RENOSYマーケットプレースの販売件数が増加したことで想定より売上高が好調に推移しました。また、人材の配置転換等により採用及び人件費が当初見込みよりも減少したこと及びインハウスでのマーケティング活動が好調に推移した結果、広告宣伝費が圧縮され販売管理費が想定を下回ったことから、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は後述する減損損失の影響で前回予想値に近似することとなりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異

(1) 2021年10月期（2020年11月1日～2021年10月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円)
前期実績値 (A) (2020年10月期)	60,957	2,452	2,229	1,510	52.24
当期実績値 (B) (2021年10月期)	78,370	894	512	△268	△8.01
増減額 (B-A)	17,413	△1,558	△1,717	△1,778	-
増減率 (%)	28.56%	△63.53%	△77.03%	△117.74%	-

(2) 差異の理由

RENOSYの認知度向上等により、RENOSY会員数が順調に伸びたことなどが奏功し、RENOSYマーケットプレースの販売件数が増加したことにより売上高が好調に推移しました。一方で、2021年5月にデジタル改革関連法が成立したことに伴い、当社の事業領域における競争環境が変化するおそれが高まったことから、RENOSYマーケットプレース事業において、不動産取引のオンライン化及びDXの更なる推進について、従前からの計画より大幅に期間を前倒した市場シェア獲得を目指す戦略を迫られることとなりました。そのような事業環境の急速な変化を受け、事業規模拡大の加速を好機と捉え、短期間でRENOSYマーケットプレース事業等の市場シェアを高めるべく、取引量を増やしました。取引量の増大に伴い、調達価格が高騰した商品が増加し、マージン（売上総利益）の低い取引が多く発生しました。当該影響により、前事業年度に比べ売上高は増加したものの、営業利益、経常利益、当期純利益は減少しています。上記に加え、当期純利益につきましては、下記、「3.減損損失（連結・個別）の計上について」に記載の減損損失の影響を大きく受けています。

3. 減損損失（連結・個別）の理由について

当第4四半期連結会計期間において、主にRENOSYマーケットプレースの一部ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の利用方針及び開発方針の変更により、事業の用に供されないことが明らかとなったソフトウェア及びソフトウェア仮勘定について、減損処理を行いました。また、その他事業においても収益性が低下したソフトウェア及びソフトウェア仮勘定について減損処理を行った結果、当第4四半期連

結会計期間に合計 621 百万円の減損損失を計上することといたしました。連結および個別の減損損失の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	個別	連結
減損損失	536	621

以上